

<参考資料>

榎尾俊雄発明記念館

榎尾俊雄発明記念館は、カシオ計算機の創業者の一人で、世界初の小型純電気式計算機「14-A」など数多くの製品を生み出した発明家 榎尾俊雄の発明の志を後世に伝えるため、カシオ計算機の歴史的製品を展示しています。また、次代を担う子どもたちに、榎尾俊雄の発明への志を伝えるべく、小学生を対象にした夏の特別展示や体験教室、また全国の小学校を対象に、発明のヒントや考え方などを学ぶワークショップを実施。（※）2018年からは、発明を通じて社会に貢献する喜びをより多くの子どもたちに知ってもらうため、「発明アイデア コンテスト」を企画し、「人の役に立つもの」「日常生活に便利なもの」「未来の世界であつたらいいなと思うもの」をテーマに作品募集を行っています。

<榎尾俊雄記念財団の概要>

正式名称：一般財団法人榎尾俊雄記念財団
事業目的：榎尾俊雄発明記念館の運営など
設立日：2012年3月8日
理事長：榎尾 隆司



外観

<榎尾俊雄発明記念館>

所在地：東京都世田谷区成城 4-19-10
設立日：2013年5月15日
開館時間：10時00分～16時30分
休館日：Webサイトに掲載
入館料：無料（Webサイトからの予約が必要です）
Webサイト：<https://kashiotoshio.org>



発明の部屋

榎尾俊雄が兄弟とともに開発した小型純電気式計算機「14-A」を展示しています

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在は特別展示・体験教室・ワークショップを中止しております。